



「変化と創造、新しい金海」 世界一住みよい都市に

毎月15日号で、市と姉妹都市の締結をしている韓国・金海(キメ)市の広報紙を紹介しています。



訓示を述べるキム市長(中央)

市職員全員が参加する中、「仕事始めの式」が1月3日、市庁舎・大会議室で開かれ、キム・メンゴン市長が、「50万の市民と1,900余人の市職員の知恵と力を結集させて、金海市を世界で最も住みよい都市にする」と宣言しました。

金海市では今年、複合乗り換え機能を備える市外バスターミナルの建設、地上15階・地下3階規模の特級クラス

のホテル、国内最大規模の超大型ウォーターパーク施設を誘致し、名実共に人口50万人都市として変貌していく計画です。さらに、人口増加に伴う宅地の安定供給のため、長有(ジャンユ)、酒村(ジュチョン)、進礼(ジルレ)地区などの宅地開発事業も計画しています。

金海市では、民選5期(*1)スタート後から6カ月間、「変化と創造、新しい金海」という市政指標を掲げ、莫大な負債と軽電鉄運行に伴う赤字補てんなど、財政危機状況を事実のまま公開し、財政の健全化にまい進してきました。

また、都市計画条例を改正し、工場立地の傾斜度を従来の25度から11度に変更するなど、乱開発問題を根本的に解決することで品位ある都市づくり土台を整えてきました。(金海市広報紙2011年1月12日発行から)

(*1) 地方自治制移行で市長が官選から民選に変わってから5期目

*この原稿は、市民サービス協働化提案制度として、平成20年度から「パラムむなかた(福岡教育大学船津研究室から名称変更)」が翻訳しています

■問い合わせ先 市民活動交流室 ☎(36)0311

学んだことや感動を伝えたい 第12回 わくわく体験報告会



地域通学合宿の発表をする田久区の子もたち



ワクワクWORKの発表をする城山中の生徒たち

子どもたちが体験活動を通して、学んだことや感動したことを発表する「第12回わくわく体験報告会」を1月29日、市民活動交流館(メイトム宗像)で開催。各事業に参加した子どもたちやスタッフの実践発表に、大勢の地域の人々が耳を傾けました。

子どもたちは、この日に向けて発表の練習を繰り返し、当日は司会も子どもたちが担当しました。この報告会が一つの体験活動にもなっています。

実践発表は、学校の授業の一環として取り組んでいる、異学年による長期集団宿泊活動「学び舎創生事業」、2校交流宿泊体験学習「セカンドスクール」、中学生職場体験事業「ワクワクWORK」。社会教育団体や地域が中心となった事業として「宗像少年会議所」、

公民館に宿泊して通学する生活体験「通学合宿推進事業」、子どもたちがイベントの企画・運営した「子どもまつり子ども実行委員会」、地域での子どもの居場所づくりに取り組む団体「日の里ママさんバスケットボールチーム」。市教育委員会が主催する海外交流事業「少年少女海外派遣研修事業」の計8事業。

「少年少女海外派遣研修事業」の発表をした団員は、「壇上に立った時は緊張したけれど、うなずきながら聞いてくれる人もいて、落ち着いて話すことができました。研修の締めくくりとなった報告会で、自分や友人の成長を強く実感できました」。来場者からは、「学校だけでなく、いろいろな場所で発表することは、子どもたちにも自信になると思います」などの声が聞かれました。

また、発表事業の活動パネルをはじめ、各地区コミュニティでの活動パネルも展示し、来場者は発表だけでなく、パネル展示にも注目していました。

■問い合わせ先 子ども課 ☎(36)1214

世界遺産への道 第27回

福岡県内の島で最大の面積を誇る大島には、神秘に満ちた知られざる風光明媚な場所がたくさんあります。世界遺産の構成資産候補である中津宮や、沖ノ島を遥拝するために江戸時代に建てられた沖津宮遥拝所などは沖ノ島の関連遺産として重要な遺産です。

このほかにも、島の北西部には、第二次世界大戦中に築かれた砲台跡と風車や牧場が両立した不思議な空間があります。また、神崎灯台の断崖絶壁からは、玄界灘の波が作り出した独特の景観を見ることが出来ます。ここは、実際にドラマの撮影に使われたこともあります。



標高224メートルの御嶽山(みたけさん)の山頂展望所からは、南に大分県との県境である英彦山、西に福岡市街越しに佐賀県との県境である脊振(せぶり)山系、東に北九州から本州山口県、北西に長崎県の壱岐、年に何回かは対馬まで見ることが出来ます。そして、ここから英彦山が見えれば、沖ノ島もはっきり見ることが出来ます。「大島の魅力を伝えていく」。これも、世界遺産登録活動の一つと考えています。市では、大島渡船ターミナルの2階に世界遺産ミニガイドダンスとしてパネルを中心に展

示コーナーを設置。大島の魅力を紹介する展示も併せて計画しています。大島渡船ターミナルは大島の玄関口であり、島民にとっては生活の一部となっています。2階には展望所(休憩所)があり、外のデッキからは大島漁港や御嶽山、本土側を一望することが出来ます。展示コーナーは、4月1日(金)にオープンする予定です。ぜひ一度、足を運んでください。



市民図書館では、最近話題になった本や予約が多い本の寄贈を受け付けています。読み終わって不用になった時は、寄贈してください。

- ▽「白銀ジャック」/東野圭吾(著)/実業之日本社
- ▽「木暮荘物語」/三浦しをん(著)/祥伝社
- ▽「神様のカルテ」1・2/夏川草介(著)/小学館
- ▽「KAGEROU」/齋藤智裕(著)/ポプラ社
- ▽「孤舟」/渡辺淳一(著)/集英社
- ▽「往復書簡」/湊かなえ(著)/幻冬舎
- ▽「悪人」/吉田修一(著)/朝日新聞社
- ▽「母オモ二」/姜尚中(著)/集英社
- ▽「マリアビートル」/伊坂幸太郎(著)/角川書店
- ▽「若様組まいる」/畠中恵(著)/講談社
- ▽「アリアドネの弾丸」/海堂尊(著)/宝島社
- ▽「終わらざる夏」上・下/浅田次郎(著)/集英社
- ▽「マボロシの鳥」/太田光(著)/新潮社
- ▽「ようこそ断捨離へ」/やましたひでこ(著)/宝島社
- ▽「もし高校野球の女子マネージャーがドラッカーの『マネジメント』を読んだら」/岩崎夏海(著)/ダイヤモンド社

●須恵分館の休館中は、赤間駅構内の返却ポストなどの利用を
中央公民館の閉館に伴い、須恵分館を4月1日(金)から同11日(月)まで休館。期間中は、須恵分館で本の貸し出しや返却ができません。

同12日(火)からは、旧中央公民館敷地内に仮施設を設置。予約本の受け取りや本の返却ができます。利用時間は10:00~18:00です。

■問い合わせ先 市民図書館 ☎(37)1321